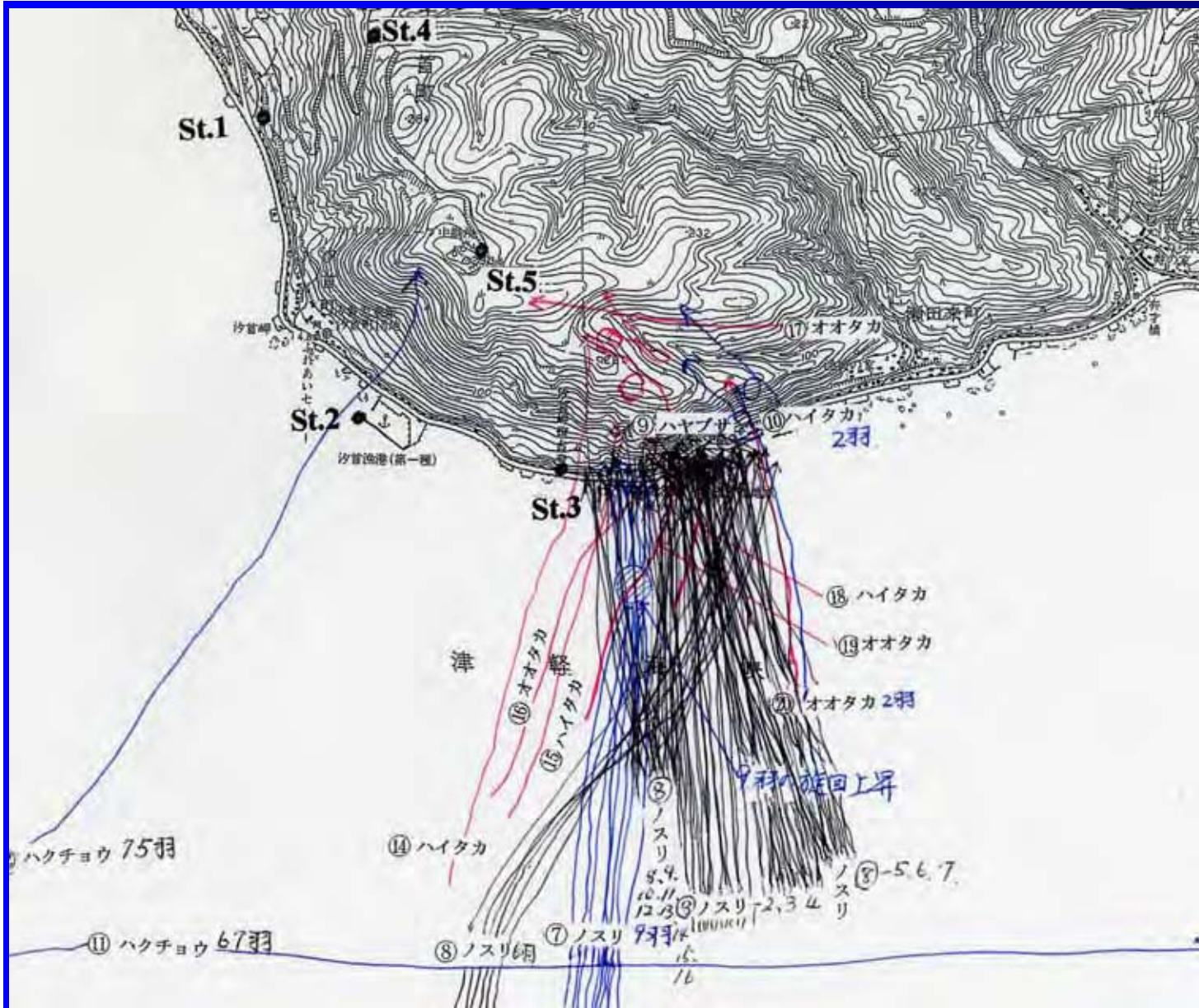




鳥類への環境 影響評価検討 委員会が 発足

「事業の可否
について
専門家の
意見を得る」



自治体による環境影響評価

- 環境影響評価条例の対象事業
福島県、兵庫県、香川県、長崎県
- 規模により対応
山梨県、岐阜県、三重県、鹿児島県
- 条例化を検討中
長野県、静岡県、佐賀県など



環境影響の軽減に向けて

- 影響が大きく出そうな条件の場所では設置を避ける(戦略的アセスメント SEA → 予防的措置)
- 個々の設置計画においては環境影響評価(EIA)を行う。環境影響評価にあたっては公開された検討の場で評価の基準づくりを行う
- すでに設置された場所での事後影響調査を行い、事故が発生する条件を解析、回避方法について検討する



建設前段階の調査(英国)



- 問題点の洗い出し
- 再現可能な、標準化された方法 (BACI)
- 個体数、分布、時期 (センサス/調査)
- 風力発電施設及び周辺地域
- 飛行行動 - 方向、高度、動き
- 日周性/夜行性、潮周期、気象条件
- 衝突の危険性
- 最少で建設前の通年1～2年間
- 焦点とする動物種及び季節を特定
- 調査の目標設定を持つ

after Langstone, R.H.W.

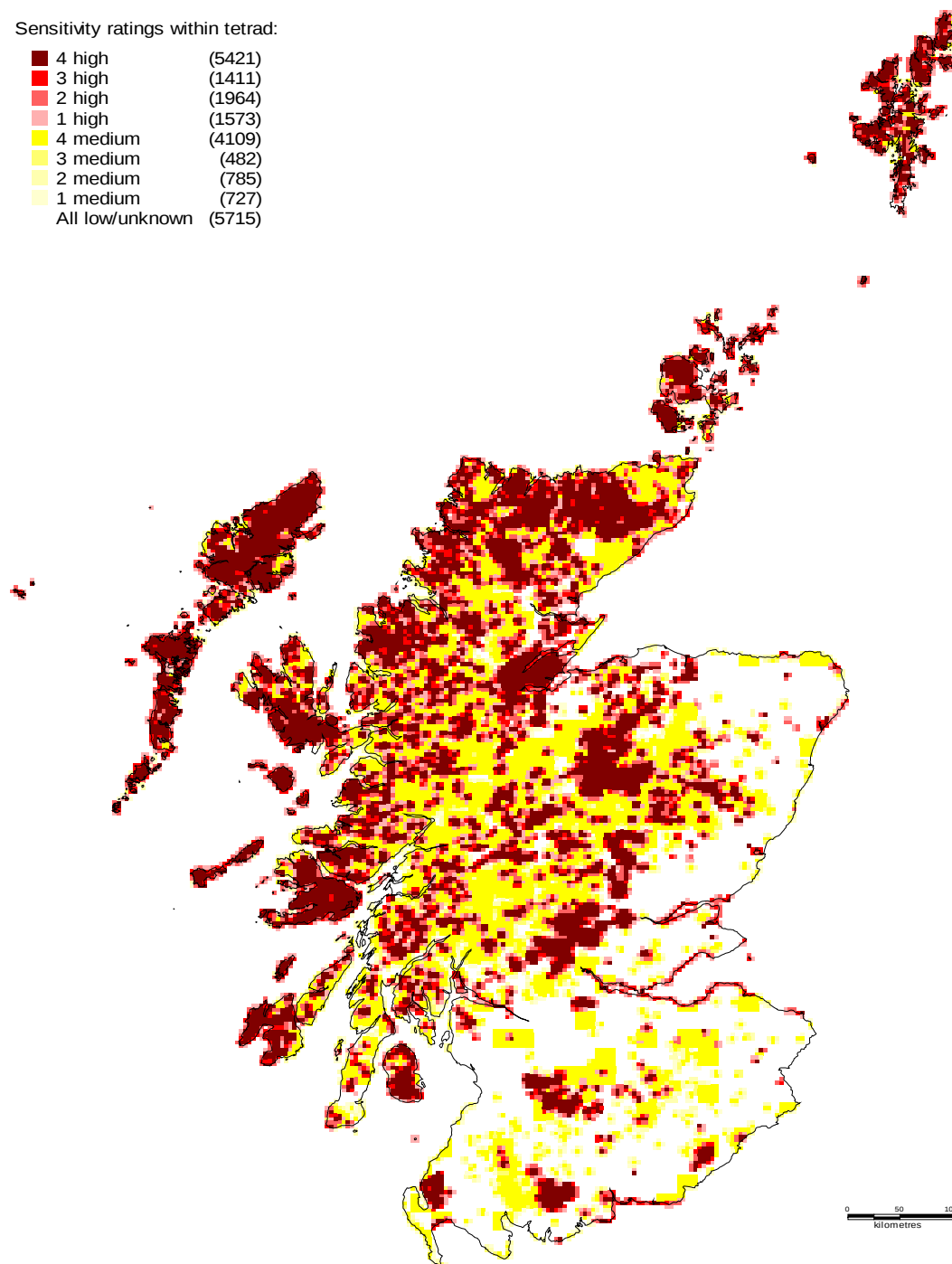
建設地選定の指針（英国）

鳥類の分布データや種の生態情報に基づくセンシ
ティビティ・マップ作成→建設地選定の指針

- 保全の必要性が高い種
- 既存の生態学的知識による基準
- 脆弱ランク付け(1kmメッシュ単位)
- メッシュ地図 (2-km x 2-km)
- 他の制限要因(風速、船舶等の航行、開発規制など)に関するデータを組み入れる

Sensitivity ratings within tetrad:

4 high	(5421)
3 high	(1411)
2 high	(1964)
1 high	(1573)
4 medium	(4109)
3 medium	(482)
2 medium	(785)
1 medium	(727)
All low/unknown	(5715)



センシティブティ・マップ (影響を受けやすい 地域の地図) スコットランド

Bright et al. 2006



立地の規制や指針

- 法律：自然公園法
- 自治体による独自のガイドライン
稚内市、酒田市、掛川市、浜松市
- アボイドマップ（影響想定地域マップ）

長野県が策定中
(入笠山周辺、菅平高原)



影響想定地域マップ(長野県)

重要野鳥生息地目録 IBA



客観的な基準により重要生息地を選定

A1. RDB種が定期的・恒常的に生息

A2. 限定された地域に生息する種、
または固有種が生息

A3. あるバイオームに特徴的な種の
相当数が生息

A4. 相当数の渡り鳥が利用・生息

A4 水鳥の生物地理的個体群の1%以上

A4 海鳥・陸鳥の世界の個体群1%以上

A4 水鳥2万羽以上 / 海鳥1万番以上

A4 渡りのボトルネックで閾値を超えるもの

**法令の指定の有無に関わらず
客観的な基準で重要生息地を示す必要**



建設後の研究(英国)



- 飛翔行動の定点観測 (目視、レーダー、音響)
- 衝突: 死体の収集及び検索効率、またはスカベンジャー (腐肉食動物) の持ち去りを考慮に入れた検定
- 衝突: 遠隔調査 (レーダー、IRVC、センサー)
- 建設後のモニタリングの継続期間は問題点によって決定し、3-5年後に再調査を実施する
- 長期的 vs 短期的

after Langstone, R.H.W.

Blyth, Northumberland

アルタモント峠で提案された対策： より安全な風車の使用

TMA, Inc. Vertical Axis Wind Turbine
鳥類の衝突は少ないと思われるデザイン。
カリフォルニアで実証実験中。

Photo © S. Smallwood.



この発表にあたり、特に次の方々にお世話になりました

Dr. Rowena Langstone and RSPB,

Dr. Shawn Smallwood ,



井上勝巳さん、出口敏也さん、鴨川誠さん、籠島恵介さん、
小川巖さん、白木彩子さん、武田恵世さん、小野宏治さん、
渡辺義昭さん、高田令子さん、福田佳弘さん、石山浩一さん、
林吉彦さん、一戸静夫さん、堀田昌伸さん、黒沢隆さん、
WINGボランティアクラブアジアクラブの皆さん、
八木典子さん、山口桂賜さん、田尻浩伸さん

ありがとうございました